

小規模企業景気動向調査

[2020年1月期調査]

～需要の停滞や新型コロナウイルスの影響で、落ち込み傾向が続く小規模企業景況～

2020年2月27日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2020年1月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…需要の停滞や新型コロナウイルスの影響で、落ち込み傾向が続く小規模企業景況…◇

1月期の小規模企業景気動向調査は、全DIが悪化し、業況DIは消費税率8%引き上げ直後や熊本地震直後を4pt以上回る水準まで落ち込んだ。新年を迎えたが消費増税の影響が色濃く残り、また、暖冬が除雪・レジャー・冬物衣料・暖房器具・灯油等の需要に負の影響をもたらした。後半には、中国発の新型コロナウイルスにより、観光関連産業がキャンセル等の、製造業は部品・原材料の供給不足の影響を受けるなど、全産業ともに業況に明るさの見えないコメントが目立った。

<製造業> ◇…米中貿易摩擦が和らぐも、新型コロナウイルスによる輸入停滞の影響を受ける製造業…◇

製造業においては先月に引き続き全DIが悪化となった。悪化幅は先月よりも拡がり、業況DIは小幅、売上額DIは10ポイントを超える悪化、採算DIは不変、資金繰りDIはわずかであった。経営指導員のコメントからは、米中貿易摩擦も改善の兆しが見られそれに伴い景気も好転の兆しがあるとの声がある一方で、中国本土の新型コロナウイルスの影響で業種を問わず輸出入が滞っているとの声や原材料の調達に不便を強いられているとの声が目立った。

<建設業> ◇…人手不足や暖冬の影響により、売上低下が目立つ建設業…◇

建設業では、他業種と同様全DIが悪化が見られた。特に売上額DIが10ポイント近く大幅に悪化するなど、例年に無い悪化幅となった。例年どおり公共事業で売り上げを確保できている、また、昨秋の台風の復旧工事の需要がある地域では、工事の長期化により安定した収益確保が見込めるとのコメントがあった。一方で、人手不足により売上向上を図れないとの声が大きく、また、暖冬の影響で除雪需要が少なく、除雪事業者は更に苦境に陥り、凍結による水道管破損も少ないため、水道配管設備業者では売上が減少しているとの声が寄せられた。

<小売業> ◇…消費の停滞が続き、消費税増税の影響から未だ回復できない小売業…◇

小売業は、先月に引き続き、全DIが悪化となった。売上額DIが10pt近くの悪化となった。キャッシュレス決済の導入やプレミアム付き商品券へ対応のできている事業者については売上を維持しているものの、消費税の駆け込み需要に対する反動減から回復できていないとの声や年末年始の需要さえ、近隣の大店に奪われている声が寄せられた。更には新型肺炎への影響で薬局等にマスクや消毒液に特需が発生しているが、一時的な動きに限られ、欠品により顧客の需要に対応できないでいる。

<サービス業> ◇…暖冬や新型コロナウイルスの影響により、売上が低下したサービス業…◇

サービス業は、先月から一転、全DIが悪化した。悪化幅は、売上額DIは大幅、業況DIは小幅に悪化した。理容業では成人式など時期的に繁忙期であったため、着付けサービスを行っている店舗を中心に売上を伸ばしている。一方で、暖冬で降雪が無く、1月末の時点でさえスキー場が営業できず、スキーレンタル業や宿泊業に多大な影響が出ているほか、旅館関係のサービス業ではインフルエンザの流行などによる外出の自粛や新型肺炎の影響で外国人客のキャンセルがあり、売上の減少が見られるとのコメントがあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 18.4	▲ 27.4	▲ 9.0	▲ 15.5	▲ 25.7	▲ 10.2	▲ 3.7	▲ 13.6	▲ 9.9
採算	▲ 22.5	▲ 25.2	▲ 2.7	▲ 23.1	▲ 23.3	▲ 0.2	▲ 13.9	▲ 20.8	▲ 6.9
資金繰り	▲ 18.9	▲ 20.4	▲ 1.5	▲ 16.8	▲ 18.1	▲ 1.3	▲ 12.1	▲ 15.1	▲ 3.0
業況	▲ 24.7	▲ 28.4	▲ 3.7	▲ 24.5	▲ 28.2	▲ 3.7	▲ 13.3	▲ 16.9	▲ 3.6

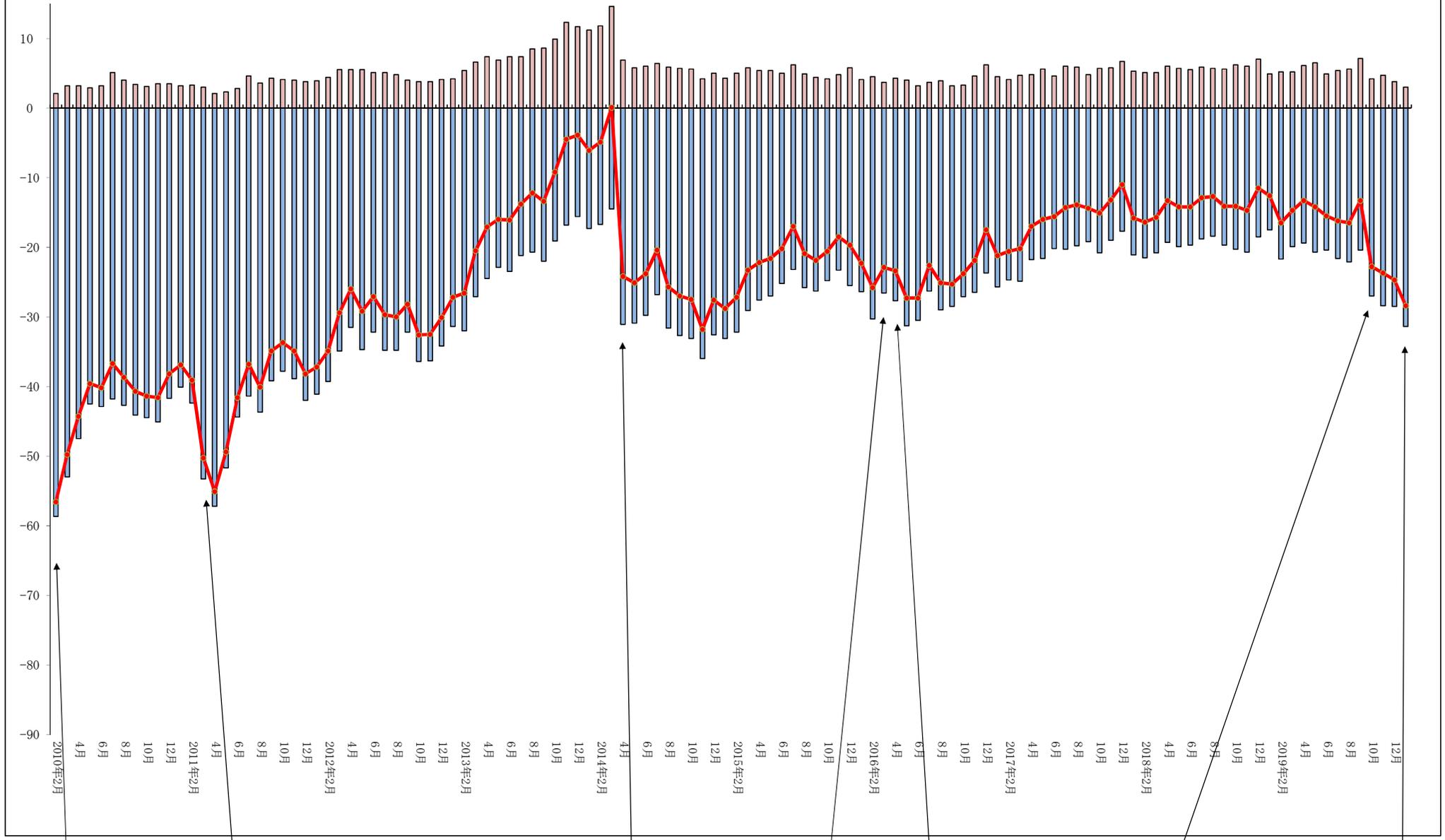
業種	小売業			サービス業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 31.6	▲ 41.2	▲ 9.6	▲ 22.7	▲ 29.0	▲ 6.3
採算	▲ 31.3	▲ 34.7	▲ 3.4	▲ 21.6	▲ 22.1	▲ 0.5
資金繰り	▲ 27.6	▲ 28.4	▲ 0.8	▲ 19.0	▲ 20.2	▲ 1.2
業況	▲ 35.1	▲ 38.4	▲ 3.3	▲ 25.9	▲ 30.2	▲ 4.3

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



2010年2月
過去10年間最低数値
(-56.6)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

16年4月
熊本地震

19年10月
消費税率10%引上げ

20年1月
-28.4

・サービス業に関するコメント

宿泊業者は好調な観光の需要をうけ昨年同期比で若干の伸びを見せている。

(鹿児島県あまみ商工会)

理美容業は12月1月にイベントがあり需要がある。

(埼玉県鳩ヶ谷商工会)

土産品店を含め、日帰り客の増加により、売上増加につながっている。

(熊本県上天草市商工会)

宿泊関連のサービス業は、海外旅行者はネットで安価な宿泊施設を選択するため、ゲストハウスや素泊まり施設などが人気となっている。

(岐阜県高山西商工会)

サービス業全般において、消費低迷により売上は減少傾向にある。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

創業事業所あり

サービス内容の拡大が目立つ

(茨城県小美玉市商工会)

理容業者から11月～12月の売上は減少したが、1月の売上は例年並みに戻ったと報告を受けた。

(富山県富山市南商工会)

旅館、理美容業の需要の高さが見られた。

(静岡県小山町商工会)

理容業は時期的に繁忙期であったため、成人式の着付けサービスを行っている店舗を中心に全体的に売上増となった。

(宮城県遠田商工会)

暖冬の影響でウインタースポーツ(スキー等)が目的の客は減少したが、ペンションやコテージの集客は前年より好調である。

しかし、今後は新型コロナウイルス感染症の影響が心配。

(岡山県真庭商工会)

建設資材運送業は年末年始に加え、雨が多かったため現場休みが多く稼働日数が少なかった。

(宮城県みやぎ北上商工会)

天候不順により観光客が減少

(佐賀県唐津上場商工会)

暖冬の影響から隣市のスキー場が稼働していない。宿泊施設への影響が懸念さえる。

(富山県庄川町商工会)

今年に入り、飲食業の売上に減少傾向

(愛媛県東温市商工会)

興行関連のサービス業は、天候不順のため売り上げの減少になっている。

(千葉県旭市商工会)

市内大型店への顧客流出が深刻

(宮城県本吉唐桑商工会)

美容関連のサービス業は、増税の影響を大きく受けており、客足が減っているため売上が減少している。

(宮城県新富町商工会)

理容業については、売上が落ちている。

(愛媛県北条商工会)

人手不足が深刻。

(滋賀県米原市商工会)

クリーニング関係のサービス業は、暖冬も影響しているためか取り扱いが減少した。

(石川県羽咋市商工会)

観光客数減により小売業にも影響がみられている。

(静岡県南伊豆町商工会)

降雪がないため、スキー場が1月末時点で全く営業できておらず、多大な影響が出ている。併せて宿泊業者も打撃を受けている。

(新潟県朝日商工会)

野菜が安値で推移している為、利益率は上昇しているが、売上が伸びていない。

(千葉県香取市商工会)

宿泊業はスキー場の雪不足により宿泊者のキャンセル等があり、売上が減少している

(岐阜県高山南商工会)

一部で消費増税の影響が見受けられる

(青森県平川市商工会)

飲食業に関しては新年会などの売上は横ばいですが多少減少している。

(茨城県桜川市商工会)

観光客・人口減少のため需要減。また、コスト増加により厳しい経営環境。

(大分県九重町商工会)

生活関連サービス業のうちコインランドリー業は、消費税増税による価格転嫁が難しく、一方で、水道代、電気代、洗剤等は値上がりし、結果として利幅が減少しているようです。

(熊本県熊本市城南商工会)

車両関連のサービス業は、増税の影響にともない引合いが減少している。

(宮城県佐土原町商工会)

宿泊業の施設、設備の老朽化に伴って後継者の不足により閉鎖(廃業)が見られる。

(栃木県那須烏山商工会)

宿泊業は、損傷個所の修繕が間に合わずお断りせざるをえない事業所も多い。また、風評被害でのキャンセル・旅行控えも未だ多く、学校や大学サークルなどもほぼすべてがキャンセルとなり、年末年始にも関わらず、地域的に売上が落ちている。

(千葉県南房総市内房商工会)

サービス業全般に大きな変化は見受けられないものの、業況が好転しているといった状況は感じられない。

(香川県丸亀市飯綾商工会)

理容業では、消費増税分の価格転嫁ができておらず、顧客は消費税の影響に関わらず高齢化等により年々減少が続いている。

(香川県高松市中央商工会)

宿泊業においては、外国人観光客の減少が若干あるため、総客数が減少傾向である。

(熊本県菊池市商工会)

対馬市が2019年に対馬市を訪れた韓国人観光客数が前年比36%減の約26万2千人と発表した。過去最多の前年を約15万人下回り、前年割れは東日本大震災の影響を受けて以来、8年ぶりとなった。

対馬市は、韓国人観光客による島内消費額が前年と比較して約33億円減少したと試算している。この金額は対馬市の一般会計予算の1割を超えており、今後も大きな影響が懸念される。

(長崎県対馬市商工会)

クリーニング関連のサービス業は、衣替えのシーズンではないため、売上が減少している。

(福島県楢葉町商工会)

売上高は、横這い傾向である。

(鳥取県鳥取市東商工会)

旅館関連のサービス業は、例年と比較し降雪量が少ないながらも当地域のスキー場は営業できているものの、合宿利用が減少した分売上も減少した。コロナウイルスに関しては、経営への影響を懸念しているが、中国人の宿泊客はほとんどおらず、当地域では台湾からが多数を占めているため直接の影響は今のところない。

洗濯関連のサービス業は、不景気のため、利用者が減少しており大きい依頼も入ってこず、大変厳しい状況である。

理・美容関連のサービス業は、冬に成人式をやらない地域のため落ち着いている時期であるが、例年に比べて売上は少し良かった。

(秋田県かづの商工会)

顧客の高齢化により、減少及び来店頻度の減少が全般的に感じる

(滋賀県高島市商工会)

洗濯業は暖冬による影響のため売上が減少している。

(福岡県飯塚市商工会)

極端な少雪により、宿泊業やスキーレンタル業は売上が大きく減少している。宿泊業に関連する飲食業やクリーニング業もそれに付随して景況が悪化している。理美容業については、景況の悪化はあまり感じられないが、消費税率引き上げに伴うコスト増を販売価格に転嫁できない分、利益が減少している。

(新潟県妙高高原商工会)

暖冬でまとまった積雪が無く、スキー場周辺で営業する宿泊施設の大部分で多くのキャンセルが発生し、資金繰りが悪化。

(鳥取県大山町商工会)

旅館業は新型コロナウイルスの影響が出始めている。キャンセルが目立つ。

(静岡県伊豆の国市商工会)

飲食業では、年始の新年会商戦では、売上増となつてが、中旬以降は苦戦しており、売上高は前年比微減となったところが多くみられた。その他のサービス業全般では、前年比横ばいから微減となったところが多い。全体的に消費の回復基調が下降気味を見せている。

(兵庫県川西市商工会)

旅館…雪不足によりスキー大会が中止となり、宿泊客が減少。今後の営業の見通しも立っていない。一部通行止めとなっていた県道鳥海グリーンラインの開通で日帰り温泉客が昨年までと比較し7割増加しているものの雪不足の影響からスキー客の利用は足踏み状態。

洗濯…冬場は季節の変わり目品等の注文も少なく、売上が落ち込む時期。チェーン店との違いを出すなどの新たな取り組みをし顧客の囲い込みが必要と感じる。春の衣替えに向けて受注増を期待。

理・美容…消費税増税の影響も薄れ顧客来店に大きな変化はないが、物販部門が微減。節約目的の買い控えや安価商品への切り替えが要因とみられるため、客単価減少を停める対策が必要となっている。

(秋田県由利本荘市商工会)

旅館・宿泊所関連のサービス業は、消費税増税後の客離れが深刻である。

(山形県寒河江市商工会)

温泉エリアの宿泊業及び飲食業は、台風19号の影響により忘新年会を自粛する各種団体、企業、各グループの影響により売上の減少となっている事業所が多い

(長野県戸倉上山田商工会)

例年並み。消費増税の影響はあまり聞こえてこないが、人口減少等別の要因により減少しているとの事。

(宮城県栗原南部商工会)

飲食関係にあつては、昨年のはじめの状況より若干ではあるが売上減少となっている。

(北海道枝幸町商工会)

旅館関係のサービス業は、インフルエンザに加えコロナウイルスの影響による外出の自粛が影響し売上の減少がみられる。選択関係のサービス業は、冬場はもともと売上は良くないが、暖冬の影響でさらに悪い。また、燃料の高騰により仕入単価も上昇している。

理・美容関連のサービス業は、少子高齢化にともないサービス利用の減少が起き、売上の低迷が起こっている。

(岡山県備前東商工会)

サービス業に関しては、暖冬や雪が少ないことの影響は受けていない。しかし、洗濯業では、顧客数は減っていないが、クリーニングに出す数や頻度が下がっている。

(秋田県潟上市商工会)

宿泊単価がアップし客数が減少、仕入単価を価格に転嫁出来ない。

美容の客数が減少

(山梨県山梨市商工会)

旅館業況はコロナウイルスの影響で最悪

・原油高騰の影響で採算悪化

(山梨県都留市商工会)

大きな変化は感じられない。

(岡山県瀬戸内市商工会)

特段なし。

(長野県御代田町商工会)

特に前月と異なった情報は無いが、小売業に消費税増税の影響を感じる情報があるため注視していく。

(福岡県宇美町商工会)

理容関連のサービス業は、ヘッドスパの新サービスを導入して数ヶ月経過したが、既存客になかなか浸透していないため、閑散時間帯限定で、新サービスを体験してもらい、浸透を図っている。

(兵庫県太子町商工会)

特記なし

(和歌山県紀の川市商工会)

前期と比べ、特に大きな動きは見られない。

(山口県大島商工会)

消費増税の影響も薄れ、特に変化はない。

(石川県森本商工会)

業種により個店差があり、いかにサービスを提供するかで経営に影響を及ぼしている。

(茨城県日立市十王商工会)

特に変化なし。

(愛媛県川上商工会)

理・美容容業は店舗の形態によるが、全体的には過当競争となっていると思われる。一部の店舗については客数の伸びもみられる。店舗の経営努力が報われているようである。

(栃木県都賀町商工会)

飲食業等では年明けからも若干の好調が見られるが、大型店等による攻勢に皆苦戦している。

(福岡県福津市商工会)

大きな変化はない

(宮城県丸森町商工会)

前期に比べ、特に大きな変化は見受けられない。

(愛知県長久手市商工会)

特になし

(愛媛県吉田三間商工会)

一般的に不変であります。

(埼玉県日高市商工会)

理美容店(フランチャイズ)の出店が相次ぎ、今後既存店への影響が懸念される。

(岩手県矢巾町商工会)

ホテル関連業は、好調な予約状況。

(島根県雲南市商工会)

旅館業関連のサービス業は大手宿泊施設がオープンした影響で全体的に宿泊客の増加傾向にある。インバウンドについては減少気味。

理容業関連のサービス業は人口減、高齢化により顧客減少。新規顧客獲得も難しい状況。低価格のチェーン店の影響も大きい。

洗濯業関連のサービス業は、人口減、高齢化により客数減少。

(和歌山県串本町商工会)

旅館関連のサービス業は、年末年始は雪がなかったことにより好調であったが、年始明け以降も例年に比べ宿泊者数は好調であり、客単価も上向きであった。中国からの団体予約が元々なかったため、新型コロナウイルスによるキャンセル等は今のところ影響はない。

洗濯関連のサービス業は、旅館の好調に合わせて売上は前年より増加した。機械の修繕が重なり資金繰り的には厳しかった。機械設備が老朽化しているため今後の対応について検討が必要。

理美容関連のサービス業は、1月の売上動向は低調で客数・売上ともに減少との回答が多かった。小規模店が多く、消費増税時の価格改定を行っていない店も多いことも確認した。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

消費税増税後の影響は見られない。

(兵庫県姫路市商工会)

前回の調査と比較しても大きな変化はない。

(岡山県作州津山商工会)

大きな変動はなく安定している。

(福井県坂井市商工会)

大きな変化なし。

(山形県尾花沢市商工会)

サービス業全般においては、客数の維持・増加に向けて顧客の利便性向上が求められているため、そのひとつとしてキャッシュレス対応を整備する事業者が増加している。

(岡山県岡山北商工会)

概ね前年並み。理容関係では、台風19号で被災し休業している店舗の客が、他の店舗に流れており、一部の店舗では売り上げが増加している。

(栃木県大平町商工会)

旅館業については、やや改善が見られ、コロナウイルス問題についてはビジネス客主体運営の為の影響はなし。洗濯業は、業況回復の見通しなし。業界の中には廃業し、勤めに出る個人業者もいる。大手も市場規模が縮小しているので厳しく、多角化の傾向もある。現状維持が誠意いっぱい状況が続いている。理美容業は、業況は不変で低調な業況が続いている。

(滋賀県野洲市商工会)

「旅館」…暖冬のおかげで客足も良く多くの項目で増加傾向。上位プランを選択される顧客が多く、宿が設定したサイトキーワードと顧客が検索するキーワードが一致していると考え。

「洗濯」…旅館・ホテルからの受注増により売上は増加しているが、一般消費者からの受注は減少傾向である。採算・資金繰りに大きな変動が無い。

「理・美容」…大きな変動はない。人口減や高齢化による微減が続いている。美容機器の導入など他との差別化を行い売上確保に繋げている。

(京都府京丹後市商工会)

旅館業：前年比同。閑散期であるため大きな変化はない。

洗濯業：前月、前年同月と比較して売上はさがっている。今後は法人契約を増やすことが地域での生き残りにつながる考えている。

(岡山県みまさか商工会)

安定した状況を維持している。しかし、理容業は件数が多いわりに人口減少に歯止めがかからないため客数が減少している。

(宮崎県えびの市商工会)

野菜が安くなり多少仕入はよいが、お客様が激減しており厳しい。
洗濯は天候に左右され、雨天が多く売上も伸びた。しかし店舗数が増え顧客の取り合いになっている。
美容院は顧客のみで新規はほとんどない。現状維持とのこと。

(静岡県浜北商工会)

宿泊関連、理美容関連ともあまり変化なしの回答

(京都府京北商工会)

特になし

(秋田県白神八峰商工会)